

## 第4章 中間評価の結果

### 1 各評価指標の状況

#### 重点項目①住み慣れた地域・自宅で受けられる『医療と介護』

評価指標	策定時 (2016年度)	目標		実績
		2021年度	2025年度	直近値
訪問看護事業所数 上段：実数 下段：人口10万人当たり	2か所 3.2か所	2か所 3.3か所	3か所 5.1か所	5か所 8.1か所
在宅療養支援診療所数	5か所	7か所	9か所	7か所
在宅での看取りの数（医師会アンケートより）	47件	100件	140件	98件
かかりつけ医を持つ人の割合 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	91.1%	92% (2022年度)	92%	90.3%
かかりつけ歯科医を持つ人の割合 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	—	92% (2022年度)	92%	85.6%
かかりつけ薬剤師を持つ人の割合 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	—	75% (2022年度)	80%	69.2%
地域包括支援センター認知度 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：役割認知+名前認知）	63.5%	70% (2022年度)	75%	62.4%

#### 重点項目②誰もが自分の将来に関心を持って取り組む『健康づくりと介護予防』

評価指標	策定時 (2016年度)	目標		実績
		2021年度	2025年度	直近値
特定健康診査の受診率	40.6%	45%	増加	46.7%
後期高齢者健康診査	43.3%	増加	増加	44.1%
特定保健指導の終了率	11.0%	20%	増加	16.2%
がん検診受診率（胃）	17.1%	32%	40%	21.5%
がん検診受診率（肺）	32.1%	42%	50%	33.2%
がん検診受診率（大腸）	29.2%	42%	50%	28.2%

評価指標	策定時 (2016年度)	目標		実績
		2021年度	2025年度	直近値
がん検診受診率（乳）	11.4%	22%	30%	15.7%
がん検診受診率（子宮）	8.5%	22%	30%	13.4%
歯科検診の受診者数	57人	増加	増加	186人
8020（ハチマル・ニイマル）該当者数	85人	増加	増加	—
要介護認定率	16.2%	15.5%	15.0%	16.5%

### 重点項目③身体 の 状況やライフステージに応じた暮らしやすい『住まい』

評価指標	策定時 (2016年度)	目標		実績
		2021年度	2025年度	直近値
入所・入院したい理由として 「住居が介護に適していない」 の割合（在宅介護実態調査）	13.4%	12% (2022年度)	10%	11.2%

### 重点項目④孤立しない/させない 地域で取り組む『生活支援』

評価指標	策定時 (2016年度)	目標		実績
		2021年度	2025年度	直近値
ふれあいサロン開催会場数 （市民ボランティア、老人ク ラブ）	23会場	40会場	60会場	11会場
ふれあいサロン開催会場数 （その他）	5会場	10会場	20会場	—
「住みよさ」の満足度 （介護予防・日常生活ニーズ 調査：「とても満足」と「満足」 の合計）	44.0%	54%	60%	40.3%
家族・友人・知人以外に相談相 手がない人の割合（介護予 防・日常生活ニーズ調査）	45.9%	36% (2022年度)	30%	45.1%

評価指標	策定時 (2016年度)	目標		実績
		2021年度	2025年度	直近値
ボランティア活動等に参加している市民の割合（総合計画に係る市民意識調査）	19.7% (2014年度)	30% (2020年度)	35%	21.2%
コミュニティ推進協議会の活動に参加したことがある人の割合（総合計画に係る市民意識調査）	9.7% (2014年度)	20% (2020年度)	30%	8.2%
見守り協定事業所数	100	150	200	255

重点項目⑤『認知症』：予防～初期集中支援～見守り 段階ごとの支援の充実

評価指標	策定時 (2016年度)	目標		実績
		2021年度	2025年度	直近値
認知症サポーター数	4,289人	6,500人	7,800人	6,717人
認知症サポーターのうち協力できる人の割合（オレンジサポーター登録者より算出）	2%	5%	10%	2.5%
65歳以上の者のうち、「認知症高齢者の日常生活自立度」がⅡa以上と判断される者の割合	7.7%	7.5%	7.4%	9.9%

重点項目⑥市民が主体となり地域全体で考えるための仕組みづくり

評価指標	策定時 (2016年度)	目標		実績
		2021年度	2025年度	直近値
地域に出向いて実施した市民との懇談会、意見交換会等の開催回数	15回 (地区懇談会)	増加	増加	8回

その他

評価指標	策定時 (2016年度)	目標		実績
		2021年度	2025年度	直近値
できる限り自宅に住みながら介護サービスを利用したい人の割合（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	43.1%	50% (2020年度)	55%	39.3%

## 2 項目の見直し

### (1) 変更する項目

ア：『認知症』だけではなく、障がいのある人や子育て世代などすべての人が『共生』できるように対象者を拡大していくため、重点項目⑤『認知症』を『共生』へ変更します。

イ：重点項目⑤の変更に伴い、「認知症予防への取組」「早期発見と初期集中支援」を統合し、重点項目②『健康づくりと介護予防』の施策へ変更し、「社会参加の促進と地域での見守り体制の構築」は重点項目⑤『共生』へ位置付けます。

ウ：評価指標「訪問看護事業所数」について、現状値が最終目標を上回っているため、上方修正します。

エ：ふれあいサロンの方向性の変更に伴い、評価指標「ふれあいサロン開催会場数（市民ボランティア、老人クラブ）」と「ふれあいサロン開催会場数（その他）」を統合し、「通いの場等の開催箇所数」へ変更します。

オ：評価指標「見守り協定事業所数」について、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画との相互性から「見守り協定締結数」へ変更します。

カ：評価指標「認知症サポーター数」について、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画との相互性から「認知症サポーター養成講座受講者数」へ変更します。

キ：評価指標「認知症サポーターのうち協力できる人の割合（オレンジサポーター登録者より算出）」について、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画との相互性から「つしまオレンジサポーターの会登録者数」へ変更します。

### (2) 追加する項目

ア：高齢者は、健康状態と心身機能の両面にわたるニーズを有していることが多くあり、その課題に対応するため、保健事業と介護予防を一体的に実施する施策を追加します。

イ：重点項目⑤の変更に伴い、障がいのある人への理解を促進する施策を追加します。